

## 地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成20年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		蒸気ドレンを回収しボイラ用水として使用					
温室効果ガスの排出の量の削減実績	温室効果ガスの排出の抑制	区分	基準年度 (平成19年度)	目標年度 (平成22年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成20年度)	対基準 年度比 (%)
		<input type="checkbox"/> 温室効果ガス 排出量 A	(二酸化炭素換算(t)) 14,108t - CO <sub>2</sub> ①	(二酸化炭素換算(t)) 22,500t - CO <sub>2</sub>	159.5	(二酸化炭素換算(t)) 17,708t - CO <sub>2</sub> ②	125.5
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B	3.82t - CO <sub>2</sub> /単位	3.70t - CO <sub>2</sub> /単位	96.9	4.37t - CO <sub>2</sub> /単位	114.4
		温室効果ガス排出量と 密接な関係を持つ値 B	3,695 単位 (生産指数)	6,089 単位 (生産指数)	164.8	4,048 単位 (生産指数)	109.6
	温室効果ガスの吸収等	区分	実施年度(平成 年度)				
			取組量等		二酸化炭素換算(t) ③		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等	(整備面積等)	ha	(吸収量)	t - CO <sub>2</sub>	
<input type="checkbox"/> グリーン電力 の購入	(購入量)	千 kWh	(削減量)	t - CO <sub>2</sub>			
削減量	基準年度 ① (平成19年度)	実施年度 (②-③) (平成20年度)		対基準年度比 (%)			
	14,108t - CO <sub>2</sub>	17,708t - CO <sub>2</sub>		125.5			
特記事項							
備考		新製造施設の試運転によりエネルギー使用量が増加したため、基準年度の数値よりも増加した。					

(注)

- 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。
- 「備考」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できなかった理由を含む。）を記入すること。